

「新しい生活はくるのか」－立論②－

「新しい生活はこない」ディベート情報カードより

- 貧しいため仕方がなく引っ越しをしている。だから住み慣れた故郷を離れて異郷の地で生活を送ることは難しい。もっと私が若かったら違った新しい生活ができたかもしれないが、年をとりすぎている。だから新しい生活はこない。
- ホンルが努力してもシュイションが大人になれば、「だんな様」と呼びそうだから関係は悪化し、親と同じ生活を送ることになる。

「新しい生活はこない」側の立論

司会 では、続けて新しい生活はこない側の立論を始めてください。時間は同じく3分です。

私たちが、新しい生活はこないと主張する根拠は3つあります。その第1は時代背景から見て、いろいろ戦争があったので、新しい生活どころではない。第2は、人間なので同じことを繰り返す。第3は、実際に満足できるような新しい生活を持った人はいないということです。

まず、第1の根拠についてご説明します。この時代は、日清戦争、アヘン戦争、辛亥革命などと国外や国内でたくさん争いがあって、新しい生活を持つどころか、自分が生きるのにも必死にならなければいけない時代です。このような時代に生まれれば、性格が変わってしまい、新しい生活を持とうなどと考えなくなってしまう。これが、シュイションとホンルなら、なおさらです。ホンルがいくらシュイションを慕っていてもシュイションが大人になればルントウと同じように「だんなさま」と呼ぶ関係になってしまい、「わたし」とルントウの関係と同じになってしまい、新しい生活などこなくなってしまう。

次に、第2の根拠についてご説明します。人間は、完全な生き物ではないので、昔から同じ過ちを繰り返してしまうからです。また、シュイションもルントウの子どもだから、ルントウの遺伝で「だんなさま」と言う可能性が非常に高いからです。それに、今まで、地球上で戦争のない日はほとんどありません。第1次世界大戦や第2次世界大戦が終わっても、ベトナム戦争、イラン・イラク戦争、中東戦争、湾岸戦争など、この他にもたくさんの争いがあります。このような愚かなことをしているかぎり、人間は変わりません。

最後に、第3の根拠についてご説明します。今まで、実際に満足できるような新しい生活を持った人はほとんどいないからです。戦争をしている時代は、お金持ちでも、貧乏人でも、いつも不安を抱えながら生活しているのだから、新しい生活が持てるわけがない。それに、シュイションもホンルも金が余っているわけでもないのに、新しい生活を持つ余裕なんてとてもない。参考資料に「人間は目標を追求する場合に、たとえそれが価値ある目標であっても、しばしば行き詰まりに遭遇する。」と書いてあるように、人間は目標を達成するためには、挫折をしてしまいます。さらに、その挫折を乗り越える人はほとんどいないということです。このほんの少数の人間にシュイションとホンルはなれるでしょうか。

以上の内容をもって、私たちの立論とさせていただきます。ありがとうございました。

司会 ありがとうございました。時間は2分38秒でした。これから、2分間の作戦タイムに入ります。新しい生活はくると考える側、こないと考える側それぞれ作戦を開始してください。判定員の皆さんは、立論の欄に5点満点で点数を記入してください。